

みどりとともに

第 38 号

2019 年 8 月 1 日

一般社団法人 茨城県治山林道協会

水戸市三の丸 1 丁目 3 番 2 号

林業会館 3 階



も く じ

茨城森林管理署の取組	2~3
「市町村森林整備等バックアップ事業」による市町村支援について	4~5
協会だより	6~7
1. 令和元年度定時総会の開催	
2. 平成30年度茨城県民有林治山・林道関係コンクール表彰	
◇第41回民有林林道維持管理コンクール	
◇第19回民有林治山・林道木材使用工事コンクール	
◇令和元年度山地災害防止標語及び写真コンクールの作品募集について	
協会の主な動き	8



茨城森林管理署の取組

茨城森林管理署

1. 茨城森林管理署の国有林

茨城県の森林面積 189 千 ha のうち、茨城森林管理署の管理経営する国有林の面積は 45 千 ha で県森林面積の約 2 割を占めています。国有林の人工林割合は全国平均で約 3 割ですが、茨城では約 8 割となっています。

茨城森林管理署は、高い人工林率、整備された路網、高性能林業機械を保有し、生産能力が高い林業事業者、常陸大宮市と常陸太田市にまたがる宮の郷工業団地に整備された原木市場、県内に広く所在する木材加工施設、那珂市から東海村にかけて広がる苗木生産施設があるなど、林業を営む上で必要な条件等が整っていることもあり、全国の森林管理署のなかでトップクラスの事業量となっています。

2. 林業成長産業化への貢献

当署では、充実した森林資源を循環利用し、将来にわたり木材を安定的に供給し、持続可能な森林経営を確保するため、伐造一貫作業システム等の森林整備の低コスト化の取組を積極的・効果的に展開し、その成果を地域に普及することを通じ、林業の成長産業化に貢献することとしています。

(1) 一貫作業システムの推進及びコンテナ苗への転換について

伐造一貫作業（伐採と造林の一貫作業システム）は、伐採と地拵え及び植栽を連続して行うもので、伐採時に使用したグラブやフォワーダ等で地拵え作業や苗木の運搬を行うものです。苗木は従来の裸苗でなくコンテナ苗を使用することで、植付作業を効率的に行うことができます。これらにより、地拵えから植栽までのコストを削減することができます。

当署では、平成 28 年度の事業発注 (1.6 ha) 以降、この一貫作業システムを積極的に進めており (H30: 35.5 ha)、今後も事業を拡大する予定です。また、併せて民有林への普及等、一貫作業システムの一層

の推進を図るため、現地検討会も開催しており、平成 30 年度は日立市の国有林で開催しました。



一貫作業システムとコンテナ苗植栽現地検討会(日立市内)

(2) 管内国有林における各種試験等について

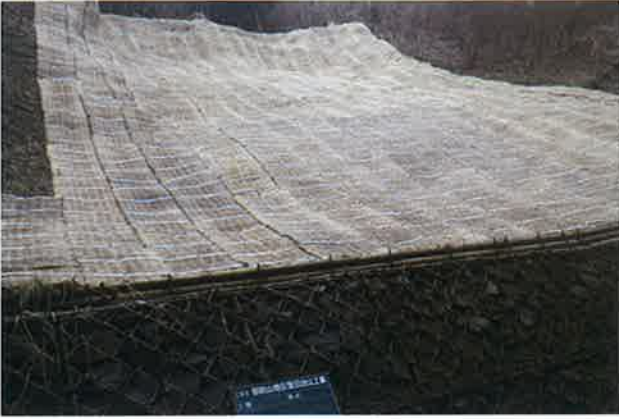
県内には森林総合研究所(つくば市)及び、林木育種センター(日立市)並びに関東森林管理局の森林技術・支援センター(笠間市)が所在しています。当署では、これら機関と連携した研究・実証等のためのフィールド提供や、開発された新たな技術や知見について現地検討会等を通じて地域に普及しています。

日立市の国有林では、約 5 ha の広範囲な試験地を設定し、初期生長が旺盛で下刈の削減が期待されるエリートツリーやコウヨウザンなどの植栽試験が林木育種センター及び森林技術・支援センターの主導のもと行われています。

また、無人航空機(ドローン)を用いた造林事業等の条件調査や検査業務、あるいはつる切等の除草剤散布を試験的に実施しています。

(3) 治山・林道事業について

土砂の流出、崩壊、落石等の災害を防止するための治山事業を行っています。平成 28 年度には、大子町の袋田の滝周辺のレクリエーションの森の安全確保のため、落石防止対策を実施しました。平成 30 年度には、城里町で法面崩壊復旧工事を行いました。



治山マット伏せ工(植生)(城里町内)

森林の適切な整備や保全、林産物の供給等を効率的に行うため、景観等に充分配慮しながら林道(林業専用道)の整備を行っています。これまでに、約 632 km の林道及び林業専用道を開設しており、引き続き林道等の整備等を行っています。



林業専用道の新設(日立市内)

3. 民国連携の推進等について

地域と一体となって林業の成長産業化及び森林の公益的機能維持・向上に資するため、民有林と連携した公益的機能維持増進協定やシステム販売などに積極的に取り組み、県や森林総合監理士(フォレスター)等と連携して市町村森林整備計画の樹立等に関する支援等も行っていくこととしています。

このほか、全国 93 箇所の「日本美しい森 お薦め国有林」として平成 29 年に選定された「奥久慈自然休養林」(男体山地域、袋田・月居山地域)において、看板整備やパンフレット配布等を積極的に行うなど、観光資源としての森林利用を関連市町村等と連携して進めています。

また、企業等と分収林契約を締結した「法人の森林」や、国民参加の森林づくり協定により、企業等の環境教育の場として国有林のフィールドを提供するほか、県内の森林・林業関係団体とともに一般市民向けイベントに参加するなど、国民の皆様に森林・林業へ興味を持ち、自然環境に理解を深めてもらうことを目的に森林・林業体験、森林環境教育等の普及啓発活動も行っています。

4. ニホンジカ対策について

森林・林業をはじめとして、様々な分野へ甚大な被害をもたらす恐れのあるニホンジカの県内への侵入が確認されたことを踏まえ、平成 30 年度からセンサーカメラを設置し生息状況の把握に努めています。

また、令和元年6月に近隣の森林管理署と「八溝山周辺国有林ニホンジカ対策協議会」を設立し、関係自治体等とも連携し、生息状況に関する情報共有や対策を検討することとしています。



森林・林業におけるニホンジカの影響に関する情報発信(水戸市内)

5. おわりに

茨城森林管理署は、これからも地域の皆様と連携し、国有林が持つ資源を有効に活用しながら林業・木材産業の成長産業化の具体的な実現を目指し、今後も計画的な森林整備の推進、林業の低コスト化・省力化、民有林との一体的森林整備等に積極的・精力的に取り組んでまいります。

「市町村森林整備等バックアップ事業」 による市町村支援について

茨城県農林水産部林政課

本県は、県土の約3分の1を森林が占めており、そのうち、約7割の144千haが民有林となっています。

林野庁の調査によると、全国の市町村の約8割が管内の民有林の手入れが不足していると考えており、森林の適切な管理が行われない場合、地球温暖化や山地災害の防止など森林の公益的機能の維持増進にも支障が生じることが懸念されています。

このような現状を踏まえ、昨年5月に制定された森林経営管理法では「森林経営管理制度」が設けられ今年度から運用が開始されました。

この制度は、手入れが行き届かず、荒廃した森林を市町村が集積・集約した上で、林業経営に適した森林は意欲と能力のある林業経営者に経営管理を委託し、一方で、林業経営に適さない森林は市町村自らが管理する仕組みとなっております。

このため、森林所有者と林業経営者を仲介する市町村の役割は大変重要なものとなっているもの

の、市町村では、全国的に森林・林業に精通した職員が少なく、これらの業務を担う人材の育成や確保が急務となっています。

このような中、県では、市町村による森林整備や森林経営管理制度の円滑な運用が図られるよう、国から配分される森林環境譲与税を活用した「市町村森林整備等バックアップ事業」により、今年度から人材育成をはじめとした市町村の体制支援に取り組んでいるところです。

この事業は、次の3つの柱で進めることとしており主な事業内容について御紹介します。

① 市町村担当者技能向上支援事業

市町村担当者技能向上支援事業では、森林・林業の知識や技術の習得を目的とした市町村職員向けの研修等を年間を通じて計画しており、これまでに、森林・林業の基礎、森林計画制度、森林経営管理制度、森林整備などの研修を実施しており、7月末までに5回開催し、延べ約120名(36市町村)の参加がありました。(写真参照)



市町村による森林の経営管理の事業フロー

市町村職員を対象とした研修の様子(市町村担当者技能向上支援事業)



森林計画制度研修



森林整備研修



高性能林業機械研修



森林測量研修

また、当制度の運用に係るマニュアルを作成し、市町村担当者の負担軽減につなげてまいります。

② 人材育成支援事業

人材育成支援事業では、市町村における人員不足を補うため、地域林政アドバイザー養成研修を実施することとしております。

一方で、今後の経営管理の委託等に伴い林業経営体による森林整備面積の増加が見込まれることから、現場で働く林業従事者等の技能向上を図るための研修を実施します。

③ 経営管理支援情報整備事業

経営管理支援情報整備事業では、過去の空中写真をGIS上で表示できるよう加工し、市町村等が行う森林境界の明確化を支援するための情報整備を行ってまいります。

県としましては、森林の公益的機能の更なる発揮と林業の成長産業化に向け、引き続き市町村をはじめ関係機関と連携し、新たな制度に基づく適切な森林管理が一層図られるよう取り組んでまいります。

協会だより

1. 令和元年度定時総会の開催

今年度の定時総会を6月18日(火)、水戸市内において、全会員23名(委任状出席を含む)及び賛助会員2団体の出席により開催いたしました。

当日は、大久保太一副会長(常陸太田市長)の開会の言葉に続き、三次真一郎会長(常陸大宮市長)より「昨年も地震や集中豪雨など災害が多発しました。幸いにして本県は、近年大きな山地災害の発生はありませんが、日頃から県民の安心安全を確保し、事前防災・減災に向けた治山対策を着実に進めることが重要です。

また、新たな森林管理システムが導入され、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を実現するため、計画的に路網整備を推進して、林業経営の自立化・集約化に向けて、森林整備・保全の基盤となる林道等路網の整備や治山対策など各事業を円滑に推進するよう努めているところです」と述べました。

さらに、当協会は、平成26年4月に非常利型の一般社団法人に移行し、会員の皆様や県、関係機関のご協力・ご支援により、当初の計画通り、5年間で公益目的支出計画を完了することができたことに感謝を申し上げ、今後も、新しい時代に相応した事業を関係機関と密接に連携しながら展開していきたいので、会員の皆様の更なるご支援・ご協力をお願いしますと挨拶しました。



挨拶する三次会長

来賓の佐藤信聡県農林水産部次長兼林政課長は「本県の森林・林業行政の推進に当たりましては、高度な知識と卓越した技術を持っている協会にご支援・協力を頂きたい」と述べられました。



来賓祝辞をする佐藤次長兼林政課長

次に(公社)茨城県林業協会石井邦一理事長、(一社)日本治山治水協会・日本林道協会の下平敦企画部長から挨拶を頂きましたほか、県の関係幹部職員や各関係団体代表の方々など多数のご臨席を頂き、盛会のうちに開催されました。

報告事項及び議事については、議長に三次会長がなり、報告事項については、5月24日開催の第1回理事会において承認された報告第1号から第3号までを説明、議案第1号から第5号については、審議の結果、原案のとおり可決承認されました。

なお、今回の役員の一部選任では、新たに理事に大子町長の高梨哲彦氏が選任されました。

また、総会議事に先だち、平成30年度茨城県民有林治山林道関係コンクール表彰式が行われました。

〔役員名簿〕

役職名	所属	氏名	
会長	常陸大宮市長	三次 真一郎	
副会長	常陸太田市長	大久保 太一	
理事	北茨城市長	豊田 稔	
〃	桜川市長	大塚 秀喜	
〃	石岡市長	今泉 文彦	
〃	高萩市長	大部 勝規	
〃	大子町長	高梨 哲彦	新任
専務理事	事務局	野村 和弘	
監事	城里町長	上遠野 修	
〃	鉾田市長	岸田 一夫	



定時総会の様子

2. 平成30年度茨城県民有林治山・林道関係
コンクール表彰

◇第41回民有林林道維持管理コンクール

森林の整備、山村の活性化に寄与する林道について、適正な維持管理を推進し、林道機能の保全と通行の安全確保を目的とし、県の後援を得てコンクールを実施しました。

入賞路線は次のとおりです。

区分	路線名	管理者
治山林道協会長賞	矢ノ沢線	常陸大宮市

◇第19回民有林治山・林道木材使用工
コンクール

民有林治山・林道工事における木材の使用を促進するとともに、技術の向上を目的とし、県の後援を得てコンクールを実施しました。

入賞工事は次のとおりです。

区分	事業名	請負業者	備考
農林水産部長賞	第1号 復旧治山事業 大子町中郷	益子建設(株)	治山 工事



コンクール受賞者の記念撮影

《お知らせ》

◇令和元年度山地災害防止標語及び
写真コンクールの作品募集について

(一社)日本治山治水協会では、山地災害に対する国民の理解と関心を深めるため、林野庁、都道府県、市町村が行う「山地災害防止キャンペーン」の関連行事として、標語及び写真コンクールを9月30日まで実施しています。

ふるってご応募をお願いします。

【応募先及びお問い合わせ先】

(一社)日本治山治水協会

標語・写真コンクール係

〒100-0014

東京都千代田区永田町2-4-3 永田町ビル4階

電話 03-3581-2288

FAX03-3581-1410

HP <https://shinrinkagaku.jp/>

○ 協会の主な動き ○ 1月～6月

- ▲ 1月 8日
第69回千鳥会(水戸市)
- 1月10日
茨城県森林組合連合会 初市(常陸大宮市)
- 1月10日
食と農と水を考える新春つどい(水戸市)
- 1月17日
全国治山林道協会会長会議(東京都)
民有林振興会総会・セミナー・懇親会(東京都)
- 1月18日
茨城県木材まつり表彰式(水戸市)
- 1月23日
林業団体合同新年の集い(水戸市)
- ▲ 2月 5日～6日
都道府県森林土木コンサルタント連絡協議会
春期技術研修会(東京都)
- 2月13日
茨城県農林水産振興協議会セミナー(水戸市)
- 2月21日
茨城県林業技術センター研究成果発表会
(水戸市)
茨城県林業種苗協同組合通常総会(水戸市)
- 2月25日
第1回森林土木技術研修会(那珂市)
- 2月26日
森林・林業におけるニホンジカの影響に関する
情報発信(水戸市)
- 2月27日
(公社)茨城県緑化推進機構第2回理事会
(水戸市)
- ▲ 3月 4日
(公社)茨城県林業協会第5回幹事会(水戸市)
- 3月 6日
「これからの森林ボランティア活動」講演会
(水戸市)
- 3月 8日
平成30年度第3回理事会(水戸市)
- 3月26日
関東森林管理局 意見交換会(群馬県)
- ▲ 4月15日
緑の街頭募金(水戸市)
- 4月19日
都道府県森林土木コンサルタント連絡協議会
通常総会(東京都)
- ▲ 5月 8日
監事会(水戸市)
- 5月 9日
(公社)茨城県林業協会第1回幹事会(水戸市)
- 5月11日
カスミ共感創造の森第9回植樹祭(笠間市)
- 5月14日
(公社)茨城県緑化推進機構 第1回理事会
(水戸市)
- 5月16日
茨城県農林水産業関係団体連絡会(水戸市)
- 5月23日
茨城県茨城県森林組合連合会通常総会
(水戸市)
- 5月24日
令和元年度第1回理事会(水戸市)
- 5月27日
茨城県林業土木事業協同組合通常総会
(水戸市)
- 5月28日
茨城県木材協同組合連合会通常総会(水戸市)
- 5月29日
(公社)茨城県緑化推進機構通常総会(水戸市)
- 5月30日
(公社)茨城県林業協会定時総会(水戸市)
- ▲ 6月 1日
第70回全国植樹祭レセプション(愛知県)
- 6月 2日
第70回全国植樹祭(愛知県)
- 6月13日
水戸法人会税務研修会(水戸市)
- 6月14日
算定基礎届事務講習会(水戸市)
- 6月18日
令和元年度定時総会(水戸市)
- 6月26日
茨城県林業改良普及協会総会(那珂市)
- 今後の予定
8月22日
茨城県民有林治山・林道関係コンクール
審査委員会

「みどりとともに」
(年2回 発行)
一般社団法人 茨城県治山林道協会
編集・発行 三次真一郎
水戸市三の丸1丁目3番2号
林業会館3階
TEL 029-225-7280
FAX 029-225-7582
<http://business2.plala.or.jp/iba-crk>
e-mail:chisan@atlas.plala.or.jp

表紙の写真:「緑風渡る吊橋」
(高萩市中戸川地内) 神長輝夫氏 撮影